【記載例】

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

年度	１．８年度　２．９年度　３．両年度
※市区町村処理欄	

（宛先）○○○ 市区町村長

令和 ×× 年 ○○ 月 △△ 日提出

給与支払者（特別徴収義務者）		
所在地	〒012-3456 ○○県××市△△１－２－３	
フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ	
氏名又は名称	株式会社　○×商事	
個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	←個人番号の記載に当たっては左端を空欄とし右詰めで記載

特別徴収義務者指定番号	12345678	
宛名番号	1234	
担当連絡者先	所属	人事課人事労務係
	氏名	特徴　花子
	電話	000-000-0000（内線　123　）

給与所得者			（ア）特別徴収税額（年税額）	（イ）徴収済額	（ウ）未徴収税額（ア）－（イ）	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	トクチョウ　イチロウ							
氏名	特徴　一郎							
生年月日	昭和・平成 50 年 1 月 1 日							
個人番号（マイナンバー）	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
受給者番号	123456							
１月１日現在の住所	板橋区○○１－２－３（税額通知の住所を記入してください）							
異動後の住所	給与の支払いを受けなくなった後の住所を記入してください。		円	□月から □月まで	□月から □月まで	□年 □月 □日	□ 右から番号を記入 1．退職 2．転職 3．休職・長期 4．死亡 5．支払少額・不定期 6．合併・解散 7．その他 事由・理由	□ 右から番号を記入 1．特別徴収継続 2．一括徴収 3．普通徴収（本人納付）

１．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）

特別徴収義務者指定番号	（新規）	法人番号	
所在地	〒	担当者連絡先 所属	
フリガナ		氏名	
氏名又は名称		電話	内線（　）

新しい勤務先では、月割額＿＿＿＿＿＿円を □ 月分（翌月10日納入期限分）から徴収し、納入します。

受給者番号	
納入書の要否（新規の場合のみ記載）	□ 右から番号 1．必要　2．不要

２．一括徴収の場合

理由 □ 右から番号を記入

1．異動が令和 □ 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため

2．異動が令和 □ 年１月１日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日	徴収予定額（上記（ウ）と同額）
月　日	円

左記の一括徴収した税額は、□ 月分（翌月10日納入期限分）で納入します。

３．普通徴収の場合

理由 □ 右から番号を記入

1．異動が令和 □ 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため

2．令和 □ 年５月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため

3．死亡による退職であるため

※市区町村記入欄

【提出先】〒１７３－８５０１　板橋区板橋二丁目６６番１号　板橋区役所　総務部　課税課　課税第一～第四係

御注意

１　黒のボールペン又はペンで記載してください。

２　「宛名番号」の欄には、特別徴収税額通知に記載された宛名番号を記載してください。

３　給与の支払を受けなくなった者が、新しい勤務先において特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。

４　一括徴収する場合は、「１．特別徴収税額がある場合は、一括徴収することが義務づけられています。

５　新しい勤務先で特別徴収税額通知（納税義務者用）の受取を電子データで希望する場合、受給者番号の設定が必要です。

※　受給者番号の記載がない場合は、区が任意の番号を設定します。

税額通知の特別徴収義務者指定番号と宛名番号を記入してください。

本件について、区からの問い合わせにご対応される方の所属・氏名・電話番号を記入してください。

受給者番号は、使用している事業所のみ記入してください。（任意）

異動後の税額の支払方法を選択してください。
選択した番号により、下段の１から３の該当する欄にも記入してください。

転勤（転職）により新しい勤務先で特別徴収を継続する場合は、こちらの欄に所在地、名称、担当者名、何月から徴収可能かを記入してください。

異動の事由を選択してください。
「７．その他」を選択された場合は事由・理由を記入してください。

一括徴収の希望があった場合は、こちらの欄に理由、徴収予定月日、徴収予定額、納入月を記入してください。

新しい勤務先で特別徴収税額通知（納税義務者用）の受取を電子データで希望する場合、受給者番号の設定が必要です。
※受給者番号の記載がない場合は、区が任意の番号を設定します。

普通徴収の場合は、こちらの欄を記入してください。

（ア）＝税額通知の「特別徴収税額」欄の数字を記入してください。
（イ）＝異動者の税額を何月から何月まで徴収したか、また徴収税額を記入してください。
（ウ）＝（ア）―（イ）。特別徴収税額から徴収済額を差し引いた額を記入してください。